

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ダイナシティ ウェスト・アネックス計画	階数	地上3F
建設地	小田原市中里字角田208番1(地名地番)	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	- 時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2022年1月26日
敷地面積	4,596 m ²	作成者	エンドウ・アソシエイツ
建築面積	2,281 m ²	確認日	2022年1月26日
延床面積	4,143 m ²	確認者	エンドウ・アソシエイツ



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 1.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 1.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.4

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
商業地域に鉄骨造3階建ての物販店舗を計画した。	特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
特になし。	既存建物との連続性を測り当該階高を設定し階高3.9m以上とした。	駐車場内に植栽帯を点在させ周辺環境と調和するよう計画した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BEIm = 0.66。	壁・天井共にLGST地を採用し、再利用可能向上への取組に配慮した。	既存建物との駐車場の回遊性を配慮して建物位置を計画した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される